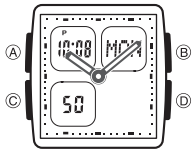
Operation Guide 4770

CASIO

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。

※デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。



●デモ表示の解除

Ⓑ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

●デモ表示の設定

時刻モードのとき、Ⓒ ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

液晶表示について

記載しているイラストは、一部を除いて、Aタイプの製品の液晶表示をもとに作成しています。
Bタイプの製品（反転液晶）をお使いの方は、記載のイラストで「機能がONになっているときに点灯する（黒く見える）インジケーターやマーク」が、製品では「白く表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でAタイプとBタイプとを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>

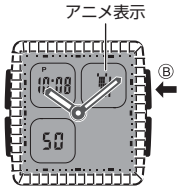


ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すと約2秒間ライトが点灯します。

➡暗いところでも、表示を見ることができます。

※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメを表示します。



■ご注意■

- 直射日光下では、ライトが点灯していることを確認しづらくなります。
- ライト点灯中にアラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。

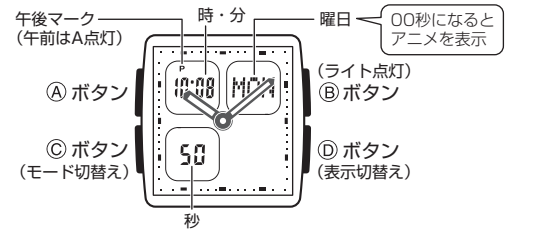
操作のしくみと表示の見方

（表示例では、アナログ（針）部を省略する場合があります。）

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※ e-DATA MEMORYモード、シティ気温データモード、アラームモードで2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



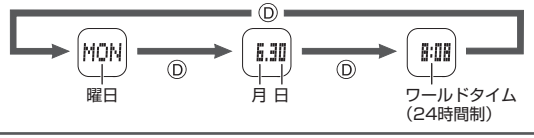
<曜日の見方>

SUN：日　MON：月　TUE：火
WED：水　THU：木　FRI：金
SAT：土

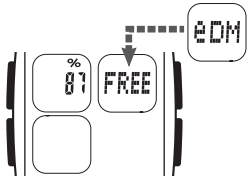
★表示切替えについて

時刻モードのとき、Ⓓボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

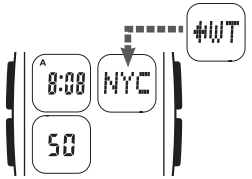
※ワールドタイムはワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻を24時間制で表示します。



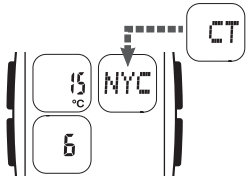
e-DATA MEMORYモード



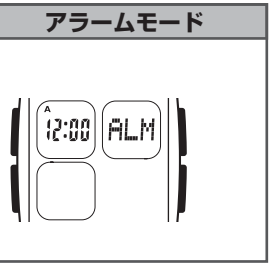
ワールドタイムモード



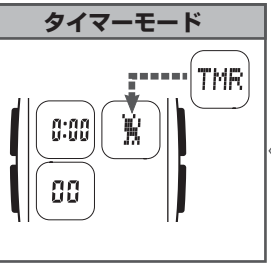
シティ気温データモード



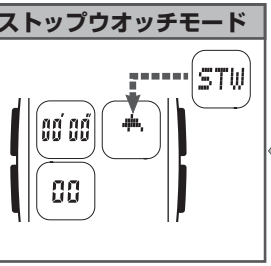
アラームモード



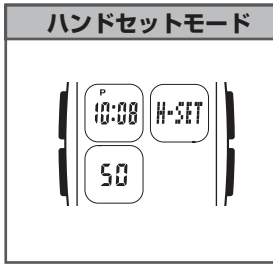
タイマーモード



ストップウオッチモード



ハンドセットモード



CASIO

e - DATA MEMORYの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、e - DATA MEMORY モードにします。

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

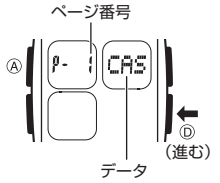


※1 件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1 件あたり 63 文字のデータを入力した場合、5 件まで記憶できます（1 件あたり 64 文字以上のデータは入力できません）。
- 1 件あたり 7 文字のデータを入力した場合、40 件まで記憶できます（1 件あたり 6 文字以下のデータでも記憶できる総件数は40件までとなります）。

■ データのサーチ

e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓓ ボタンを押します

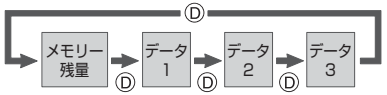


➡Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わります。
※ 押し続けると早送りします。

※データを 4 文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に "◀" マークがつきます）。Ⓐ ボタンを押すと表示が止まり、もう一度 Ⓐ ボタンを押すと動きだします。

※メモリー残量のページとデータ入力をしたページを表示します。
なお、データを 1 件も入力していないときは、メモリー残量 "100%" のページのみ表示します。

例）データを 3 件入力したとき



■ データを入力する

※ メモリー残量のページに "0%" と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。
*「データの修正／消去」参照。

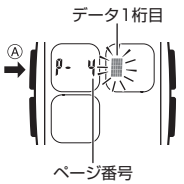
1.「メモリー残量のページ」を表示させる

e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓓボタンを押して「メモリー残量のページ」を表示させます



2. セット状態にする

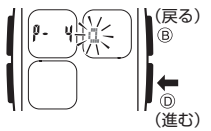
Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します



➡データを登録していないページが表示され、データの 1 桁目が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. 点滅箇所のセット

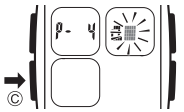
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡押すごとに点滅箇所が右に 1 つ移動します。
※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。

3. ～ 4. の操作を繰り返して、データを入力します

※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字　a～z
- 英大文字　A～Z
- 数字　0～9
- 記号　＊－＿@ ˜ ／＼＃ . : ; ' , " ^ &

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡"SET" 表示後、点滅が止まり、セット完了です。
※ 続けて他のデータを入力したいときは、*1.* ～ *5.* の操作を繰り返し行ないます。
※ データは入力した順に記憶されます。

■ データの修正／消去

1. Ⓓボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

➡データの 1 桁目が点滅します。
※ データの修正／消去状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に修正／消去状態が解除されます。

3. データを修正／消去する

★データ修正➡Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字、数字、記号を表示させます。

★データ消去➡Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。"CLR" 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

4. 修正／消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

※ データを消去すると、後ろのページが 1 ページずつ繰り上がります。

シティ気温データの使い方

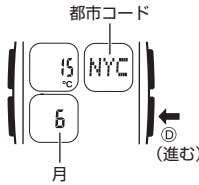
「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、シティ気温データモードにします。

シティ気温データモードでは、世界 30 都市の月別平均最低／最高気温を知ることができます。
※シティ気温データモードに切り替えると、前回選んだ都市のデータを表示します。

■ 気温データのサーチ

1. 都市を選ぶ

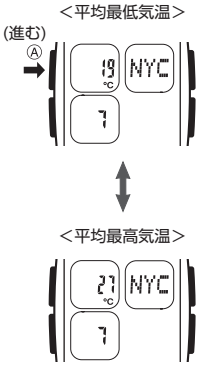
シティ気温データモードのとき、Ⓓボタンを押します



➡Ⓓボタンを押して、見たい都市を選びます。
※ 押し続けると早送りします。
*表示される都市コードの順番については「都市コード一覧」をご覧ください。

2. 月を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します



➡Ⓐ ボタンを押すごとに 1 月ずつ進みます。
※ 押し続けると早送りします。
※ 平均最低気温と平均最高気温は交互に表示されます。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（27タイムゾーン）の時刻を知ることができます。
※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

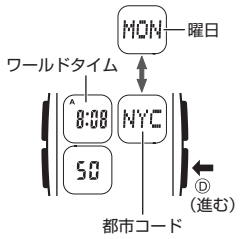
時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※ 押し続けると早送りします。
※「都市コード」と「曜日」は交互に表示されます。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡ⒶボタンをⒶ約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※ サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	THR	+3.5	テヘラン
HNL	−10	ホノルル	DXB	+4	ドバイ
ANC	−9	アンカレジ	KBL	+4.5	カブール
LAX	−8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	−7	デンバー	DEL	+5.5	デリー
CHI	−6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
NYC	−5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	−4	カラカス	BKK	+7	バンコク
RIO	−3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
BER	+1	ベルリン	ADL	+9.5	アデレード
CAI	+2	カイロ	SYD	+10	シドニー
JRS	+2	エルサレム	NOU	+11	ヌーメア
JED	+3	ジェッダ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2006年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

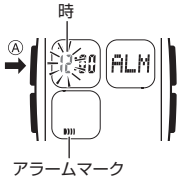
アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します

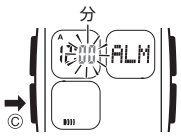
➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

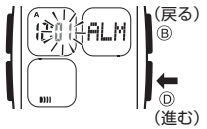
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



2.～3.の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

4. セットを終わる

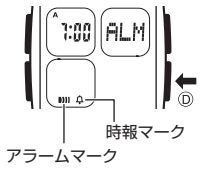
Ⓐ ボタンを押します

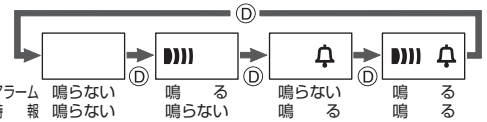
➡点滅が止まり、セット完了です。

■アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※ それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。





■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が24時間“0:00”で設定されています。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

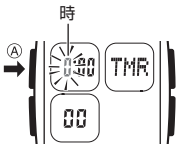
★リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

★オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“⇆”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

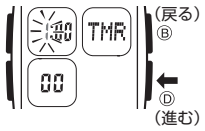
タイマーモード（計測リセット状態）のとき、Ⓐボタンを約2秒間押します



➡「時」が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「時」をセットする

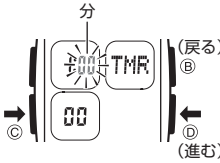
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ １分単位で24時間までセットできます。
※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。

3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します



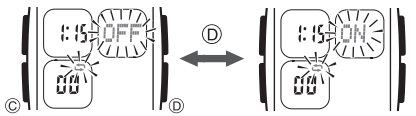
➡「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにオートリピートタイマーのON／OFFが切り替わります。
※ OFF ＝リピートタイマー
ON ＝オートリピートタイマー

<リピートタイマー>　<オートリピートタイマー>



5. セットを終わる

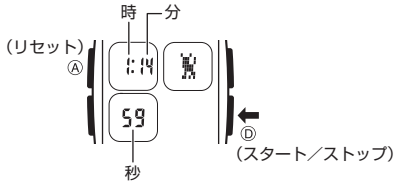
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後、Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

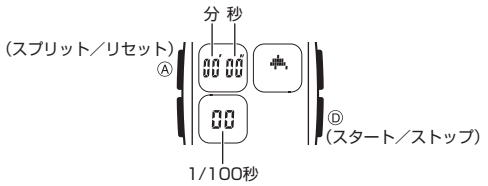
「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

★計測中にⒶ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（SPL表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐ ボタンを押すと、計測値が０に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方

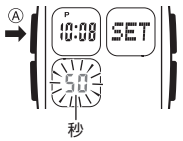
以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

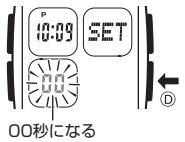
時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します



➡「秒」が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

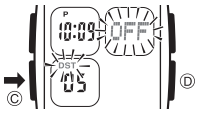
時報に合わせてⒹボタンを押します



➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押してから、Ⓓボタンを押します

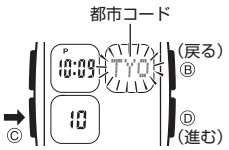


➡Ⓓボタンを押すごとにON／OFFが切り替わります。
※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します。
※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）

* サマータイム（DST）については「サマータイム（DST）について」参照。

4. ホームタイム都市を選ぶ

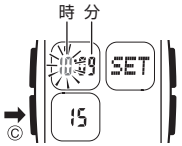
Ⓒボタンを押してから、ⒹまたはⒷボタンを押します



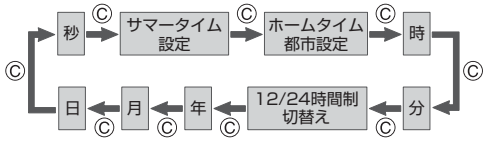
➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（「都市コード一覧」参照）
※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

5. 「時刻・カレンダー」合わせ

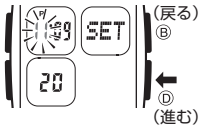
a. **Ⓒボタンを押します**



➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **ⒹまたはⒷボタンを押します**



➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替えは、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。
※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

6. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

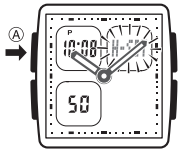
■ アナログ部（針）の合わせ方

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備：Ⓒボタンを押して、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

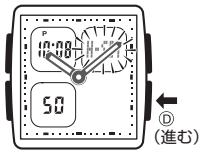
ハンドセットモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します



➡表示が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. アナログ部を合わせる

Ⓓボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、アナログ針を合わせます。
※ 押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。

★針の自動早送り

Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。
※自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。